

授業科目名	運動生化学特講演習	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	吉田 剛一郎			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	生体における化学的变化をよりよく理解し、生化学的なからだの変化について、化学変化から学びとり、われわれのからだの内部で起こっている生化学の知識をより深める。実際には、生化学演習、分子生物学演習をとおして、特講で得られた知識の理解度を深める。最終的に、運動にともなうからだの変化について、生体内代謝に基づく科学的な考察が行えることを目標とする。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(50%) 授業への取り組み状況(20%) レポート等の提出状況(30%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	演習に取り組む姿勢を重視する。				
テキスト、教材 参考書	・演習テキスト(授業時に配布する) ・岡本 洋・木南英紀 編『演習で学ぶ生化学』(三共出版)				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)	必要に応じて論文抄読会を行う。		
オフィス・アワー	随時 307研究室				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	吉田 剛一郎	生体を構成する物質1.細胞			
2	"	生体を構成する物質2.水と水溶液			
3	"	生体を構成する物質3.糖質・脂質			
4	"	生体を構成する物質4.タンパク質・核酸			
5	"	酵素1.性質と分類			
6	"	酵素2.触媒反応・活性の調節			
7	"	酵素3.運動負荷にともなう反応調節			
8	"	代謝1.代謝の概要			
9	"	代謝2.糖質代謝			
10	"	代謝3.脂質代謝			
11	"	代謝4.タンパク質代謝			
12	"	代謝5.運動負荷にともなう代謝変化			
13	"	遺伝情報の発現と調節1.遺伝情報とDNA			
14	"	遺伝情報の発現と調節2.転写と翻訳			
15	"	遺伝情報の発現と調節3.トレーニングと遺伝子発現調節			